號一十九		第	秦民	A	斜	朝	日七十月二	年二十正大	(可認物便郵種三第)	(=)
作日本。豆向むする可此や東亞の宮崎博士主張の基因で名の中央の日本。豆向むする可比や東亞の宮崎博士主張の基因で名の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	(巴里十五日後電) 瑞典首相』中央利益民之佛國의政策者許小年日 (巴里十五日後電) 昨日歐洲의國際聯盟保健部司『立外の』」 連上海子來着하少七中來十八日『平司』何し三、母全」號三上海子發生上海子來着하少七中中賠償金子得數學小日至『平日の『瑜方의絕對的』 全上海子來着하少七中中賠償金子得數學小日至『平日の『瑜方의絕對的』 全上海子來着하少七中來十八日『平日』何一時,一時,一時,一時,一時,一時,一時,一時,一時,一時,一時,一時,一時,一	表中的最初的表	作り 大 岩 助 片 作り 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	<b>子</b>	女門 外配出来上 一年間 占領 山水 上 一年間 占領 古り 三次 日本義外想な 三十分 の 一年 間 占 領 平	米 言 言 言 言	中 计 设 计 基	大阪 部外 國人 取締 訓令 一交 部外 國人 取締 訓令 地方長官 別 對 하 呼 他方長官 別 對 하 呼 他方長官 別 對 하 呼	海湿附の調や中英部のは 東部等を英調のは 中概を侵犯なの以前の で北京のは直接 で北京のは直接	威海衛隨 交涉開始 □ 國 政 局 □ □
第 第 第 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	一提日 (東京多● 文 、	中では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	(大阪登宣) 日本衆議院預算 (大阪登宣) 日本衆議院預算 (大阪登宣) 日本衆議院預算 (大阪登宣) 日本衆議院預算 (大阪登宣) 日本衆議院預算	班男、池田長康男、斯波研究會 近衛文曆公、蜂須賀正子,以條降正子,八條降正子,以條降正子,以條降正子,以條降正子,以條降正子,以條降正子,以條降正子,以條降正子,以條降正子,以條降正子,以條降正子,以	外交 湖 决議案	会 派 交 沙 會 一致協調小成立計	整整型圖司司司必要小百計書認하り 對外國策書確立하五東洋平和男基 時代の當から貴族院主舉國一致皇 要小切實育으로與國際協調和平司 要小切實育으로與國際協調和平司 要小切實育으로與國際協調和平司 要加上は七國時間其實任書重視普 歐洲大戰以來我帝國司國際的地位 歐洲大戰以來我帝國司國際的地位	如刷出来	1 和年間側部に対する。	间底 4 資謝 4 号 4 号 4 号 4 号 4 号 4 号 4 号 4 号 4 号 4
府가이니라 加藤內閣 + 多 銀리 앗나니 吾等 + 一齊 하 사 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한	移上町内外議政의施設+其能力 の関務・登行列不足も者呈認れ 中野率高・得を刃上國民의代表 中外率高・得を刃上國民의代表 中外率高・得を刃上國民의代表 を主な府・組織す・中國民의代表 を主な方を組織す・中國民의代表 を主な方を組織す・中國民의代表 を主な方を組織す・中國民의代表 を主な方を対象の対象を表して、 をまる、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 をまる、 を表して、 を表して、 を表して、 をまる、 をまる、 をまる、 をまる、 をまる、 をまる、 をまる、 をまる	開不信任9件) (濱田岡松君外二名提出) 号一括寺・は殿照呈寺立 野寺・中二理由小在寺外一や立 野寺・中二理由小在寺外一や立	日程第八次議案(內日程第七次議案(內日程第七次議案(內日程第七次議案(內	物の買入又と建物の關む法律来物の買入又と建物の關む法律を責長報告斗如の可決確定も後来三米を一括かの議題の供かる案三米を一括かの議題の供かる案三米を一括がの議題の供かる案三米を一括がの議題の供かる。	東京福兵工廠及大東京福兵工廠の各特別商兵工廠の各特別部分法律計合併の関立法律	二、第三 (政府私 (政府私	日程第二 (政府提出第一讀會) (政府提出第一讀會) (政府提出第一讀會) 化海道拓殖銀行法中收正法 律案(同 右) 以正法律案(同右) 以正法律案(同右)	「東京地」 (東京地) 本代議院 本代議で 十五分の開合する在野族の政・皇侍職 不信任案上程のものなる。皇侍職 は不信任案上程のものなるとの がいいい かいいい かいいい しょうじょう いいいい しょうじょう いいいい しょうじょう しょうきょう はいいい しょうじょう はいきょう しょうじょう はいきょう しょうじょう はいきょう はいきょう しょうじょう はいきょう しょうじょう はいきょう はい はいきょう はいきょう はいきょう はい はい はいきょう はい はい はい はいきょう はい はい はい はい はいき はいきょう はいきょう はい はい はい はい はい はい	電氣測定令 與 (十五日)	1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、
中 1 年 2 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3	(東京電) 日本衆議院の陪審法(東京電) 日本衆議院の陪審法の書のもず五日午前十時五十分不委員會を十五日午前十時五十分不委員會を十五日午前十時五十分不委員會除外の難せ者主思性が、日本の書のもがは、明文を開発して、明介の書のものは、明文を表表に、東京電)日本衆議院の陪審法の書き、「東京電」日本衆議院の陪審法の書き、「東京電」	条 可即起 財 時間 直言 計 り 間 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音	大倉町は坊害が起動する関係がある。大倉町は坊舎をはまる。大倉町は大郎氏が登垣が出る。大田のは、大田のは、大田のは、大田のは、大田のは、大田のは、大田のは、大田のは、	用の施設 おいりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	当實行や甚可疑訝不己ず可黨縣 世の四大政綱・整明寺がそ可此等第一の四大政綱・整明寺がそ可此等第一の政府・最初綱紀顯正行政及財 (無案や不信任司結果のや同一部 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	日 型 公工工 憲政會案斗義 の関係輸出解禁斗如も問題を皆 の何하り不能하け今日無力も政 が所か無力も政友會の扶助可・登 の所が無力も政友會の扶助可・登 の所が無力も政友會の扶助可・登 の所が無力を政友會の扶助可・登 のののが、 のののが、 のののが、 のののが、 のののが、 のののが、 のののが、 のののが、 のののが、 のののが、 ののののが、 のののののので、 のののののののので、 のののののののののので、 のののののののののの	對欄府間の関係や述む後其消息 第11時 1 日支郵便條約の関む政府 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が云答問 ・ 度 來 五 古日   ユ答	福や院骨の耳中一上徹正耳内の 岡野 一上徹正平 と地方 早 整 選 ・	を政友會を無力が可(政友智・サージの大会を表示して、 ・ では、
型	(一)腳稅官率法第八類二八六及(一)腳稅官率法第八類二八六及(一)同第十七類六一二甲二八人(一)同第十七類六一二甲二甲(小)(三)同第十七類六一二甲二甲(小)二	東洲及滿頸附属地で限すら此を 東洲及滿頸附属地で限すられて 東洲な高野では特惠的の三帝阿懽の 大税号腰が中ユ要望が五萬若溺于 人税号腰が中ユ要望が五萬若溺于 地名部の應替者不可がけが電が を 地名部の應替者不可がけがで調べ を を を を を を を を を を を を を	学 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	或首用責善形成す對はよど次定公司 一、大型助の及保護の関連件(哈爾賓道式 中三線聯合特定派賃及轉境關稅元以 中三線聯合特定派賃及轉境關稅元以 大號、華盛顧會議の結果の件は(大 大號、華盛顧會議の結果の件は(大 大號、華盛顧會議の結果の件は(大 大號、華盛顧會議の結果の件は(大 大號、華盛顧會議の結果の件は(大 大號、華盛顧會議の結果の件は(大 大號、華盛顧會議の結果の件は(大 大號、華盛顧會議の結果の件は(大 大號、本 は、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 本語、 大郎、 大郎、 大郎、 大郎、 大郎、 大郎、 大郎、 大郎	提出) では、日本移入品の出来上解呼 近年の歌 (日本移入品の出来上解呼 近年の歌歌歌)を實際斗符合がからのは、 日本移入品の出来上解呼 近年のののでは、 日本移入品の出来上解呼 近年	中)臺製繩叭。豆香事等要寫書件 合語外)一般火災保險料音低減事事 電話外上書通拔。豆香事等要寫書件 含素原油提出) 理樂原浦提出) 理樂原浦提出) 工號 滿鮮 航路開始 要望事件 (木浦提出) 工號 滿鮮 航路開始 要望事件 (木浦提出)	一般ない変別を作(京城提出) 使局所的数化普及々經濟的保護施設門監建、在滿洲朝鮮人の對かい精の運輸、中央上型競を件(門向會議所提出) 時代 建筑 在滿洲朝鮮人の對かい精の運輸 在滿洲朝鮮人の對かい精の運輸 在滿洲朝鮮人の對かい精の運輸 在滿洲朝鮮人の對かい精の	月三日至早司三日開安東平母以上 午後七事情甲依幹中散會等中 大概 年後年後零時二十分▼休憩寺 加寺 ・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学生活長を打せなりません。 専門派す委任者の連絡が中央「版」 は、 起訴が犯訴の関係や此 作業の は、 起訴が犯訴の関係や此 作業の が、 しまが答案を採用対す、 しまで のでは、 というには、 というには、 しまが答案を採用対する。 のでは、 というには、 というには、 しまが答案を採用対する。 のでは、 というには、 というには、 しまが答案を採用対する。 のでは、 というには、 というには、 これができません。 のでは、 これができままない。 のでは、 これができまない。 のでは、 これができない。 のでは、 これができない。 のでは、 これができないができないができないができないができないができないができないができない
中途可豐作专見하게되었立日本 明年 经 中途可豐作专見하게되었在 中 四年 市 经 中 经 中 经 中 经 中 经 中 经 中 经 中 经 中 经 中 经	間号送すい全朝鮮의移種の良好に 間号送すい全朝鮮의移種の良好に はなみ僅可此의去來号すびムリー ではなるでで全朝鮮의移種の良好に はなみ僅可此의去來号すびムリー では、一石営二週内外의利益を見せなる とこれでは、一石と、一石営、一週 とこれで、一石と、一石と、一石と、一石と、一石と、一石と、一石と、一方で、一方では、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で、一方で	保量の以上豆長崎を終わり、 2年間により、1年間の 1年日本のには、1年間の 1年日本のには、1年間の 1年日に、1年日の 1年日に、1年日の 1年日に、1年日の 1年日に、1年日の 1年日に、1年日 1年日 1年日に、1年日 1年日 1年日 1年日 1年日 1年日 1年日 1年日 1年日 1年日	以作者仰すれ三月以来米價や頻長の少す工旱魃ヲ壁の四方の起すの少す工旱魃ヲ壁の四方の起すの少す工旱魃ヲ壁の四方の起すの少す。全道不作の年の安や日其四距今三十六年前朝鮮内コ降雨以今茲の日本移出の動機者記す	は、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	19日本仁川奥田貞次郎翁寺始寺 おい沿花の野寺・朝鮮米穀界の功 慶一萬石の増進寺見寺の至寺のそ 0二八今の・実輸移出年額七三百四 マーバー のいました 一切 はっぱい はいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	級里かかる	中央電話の日本の 数型 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	一萬三十八石(七分六厘)の所目を一萬三十八石(七分六厘)の所は、大阪小不順ののでは、中不拘の上の対象の大戦の大戦を対する。 大阪・地域の大戦を対する できる 大阪・地域のでは、大阪・地域の大阪・大阪・大阪・地域の大阪・大阪・大阪・地域の大の大の大阪・地域の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大	一分七層、初篇一度一千五百四十九枚(八分五厘)。 本物の大大で、一割四分五厘)。 会計四十九枚(八分五厘)。 会計四十二石(五分五厘)。 会計四十二石(五分五厘)。 高型二千 世界之十二石(五分五厘)。 夏蓋二千 世界之十二石(五分五厘)。 高型二千 世界之十二石(五分五厘)。 会計四四十八石(五別六分二厘)。 本語 中華	、夏堂 萬四千百三十四枚 (四分)非常八百三十一枚。 合計四十九歲 國五一千八十一枚。 合計四十九歲 國五一千八十一枚。 合計四十九歲 國五一十八十一枚。 合計四十九歲 國五十七萬二千七十八枚。 著
「一個的す五条港の船腹利用り途外内を持つ、 一条港や大司繁榮の別に、 一条港や大司繁榮の別に、 一条港の大司繁榮の別に、 一年の一年の 一年の一年の 一年の一年の 一年の一年の一年の 一年の一年の 一年の一年の一年の 一年の一年の 一年の一年の一年の 一年の一年の 一年の一年の 一年の一年の 一年の一年の一年の 一年の一年の 一年の一年の 一年の一年の一年の 一年の	1990年日此三因のの貨物を各港に日のと日此三因のの海のでは、1900年日に日のの一日の日本の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の	依許・運賃き選減費の可かけ立要を出商業會議所の内朝鐵の計願が上口を引撃各港コ大問題の記との日本会別等各港コ大問題の配と及時に一次本制度と最著實施可以上一次上方。 一次中貨物の関係。各港の首節は、東京の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の	長距離鐵道運賃遞減即滿洲方面。北京社会工程。 一起 運 賃 應 職 運 賃 應 減 問 題 減 問 過 減 間 題 減 問 過 減 間 題 減 間 過 減 間 過 減 間 過 減 間 過 減 間 過 減 間 過 減 間 減 間	公金 一、大七八、一六九四平路線将府貯金管理所司最近郵便合類総督府貯金管理所司最近郵便合業の左斗如司 せい	本が外上には、大きの人工の人工を対して、大きの人工を対して、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが	とのでは、日本のでは、	の主題をはいる。 の主題がは、 のので	「骨織の七全然從米平形勢斗」 Bun 東痛切り感で中の有許の三十一面を上底収穫が手供の利用面の對け 加計が果ま得を七双比問題の對け 加計を東方が照りのでは、東京の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の	は、	では、A Market A A Market A
一五後の 一五後の 一五後の 一五後の 一五後の 一五後の 一五後の 一五後の 一十二銭の 一十二 一十二 一十二 一十二 一十二 一十二 一十二 一十二	一型・対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対し、氏夫妻も主演のとは、女性の方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないの方は、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない		是洞、楸亭洞、外下面南幾洞 大仁洞、三郎洞、三面洞、、	安北道龍川郡府經面船里洞、元 李區域 章左斗如司 變更 3 件 章認可 工十二年二月十三日大正水利組 司區域 章左斗如司 變更 3 件 章認可 工作二年二月十七日附官報 星告示司 符 3 中	十四枚 中四大 一年度三百五十九萬三千八百 위十五十三枚	十一年度(大正十年十一月一年度四十四萬四千六百二枚五十三萬四千六百二枚五十三百五十年度四十四萬四千二百五十年度四十四萬四千二百五十年度四十二萬三千四百五十	「村女師」 女性 4 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	時間は14日は14日は14日は14日は14日は14日は14日は14日に14日に14日に14日に14日に14日に14日に14日に14日に14日に	田曜町原動並引立信間が東京 一京一月中年日紙数入五萬 一京一十八萬八十二萬一十五 一京一十八萬八十二萬一十五 一日中年日紙数十五十五 一日中年日紙数十五十五 一日中年日紙数十五十五 一日中年日紙数十五十五 一日中年日紙数十五十五 一日中年日紙数十五十五 一日中年日紙数十五十五 一日中年日紙数十五十五 一日中年日紙数十五 一日中年日紙数十五 一日中年日紙数十五 一日中年日紙数十五 一日中年日紙数十五 一日中年日紙数十五 一日中年日 一日中 一日中 一日中 一日中 一日中 一日中 一日中 一日	港「は兄親在銀南湖、群山橋 A が前半年間付き高向セス不知寺 最も一幹部を見到派のリムー現在 全第一般幹部を反對派のリムー現在 全第一般を開始のような関係のは、大阪教育を表現を表現のような、一般のは、
電話 長九一一次 電話 長九一一次 電話 長九一一次 電話 長九十二級 中中限 全工十八銭 中間 いっぱい かいっぱい かいっぱい かいい かいい はい かいい はい かいい はい は	大河県・野蛮が、守ちのは十十年の 大河県・野蛮町五丁目 十川府港町五丁目 十川所港町五丁目 十川米豆取引所仲買人 市山米豆取引所仲買人 「山米豆取引所仲買人」 「山米豆取引所仲買人」 「山米豆取引所仲買人」 「山米豆取引所仲買人」	大軍政権教徒外部の第四時七十萬小村の機可保留の第四時代第四十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五	オサッサニを各仲買店のは七金銭 (佐然集注重号不啻斗通帳3金書要 市中の人影や少毫を減少替の無可 一個人影や少毫を減少替の無可 一個人影や少毫を減少替の無可 一個人影や少毫を減少替の無可 一個人影や少毫を減少替の無可 一個人影や少毫を減少替の不所 一個人影や少毫を減少替の不所 一個人影や少毫を減少替の不 一個人影や少毫を減少替の不 一個人影や少毫を減少替の不 一個人影や少毫を減少 一個人影や少毫を減少 一個人影や小型 一個人 一個人 一個人 一個人 一個人 一個人 一個人 一個人 一個人 一個人		は、	に 一	200号件の立常限を不成の中央 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		大阪中山 は、三十九銭の付すりは面で、一年、大阪地市場の家配や弱級二流筋を、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、一年、	
中有效通 中 1	物理醫術	大学 大	央 國 製	自轉車廉價大放賣		大募集   一	東 日本顧問市本町二五番地  東 日本顧問市本町二五番地  を	지 등 부 등 시 이 에 지 등 한 약을 지 여 보 내 드리겠습 () 시 나 다 나 다 다 보 이 이 남 이 는 다 본 이 이 남 이 남 이 남 이 난 보 이 는 다 다 보 이 이 남 수 를 하 시 이 남 이 간 보 이 는 다 보 이 이 남 수 있 습 등 한 등 이 가 나 나 이 가 나 나 이 가 나 나 나 나	도하여 동신판막하 보고하우리 생 등 시작 등	₩ 사 명 전 [ 대 의 전 및 전 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및

			Š	說			•	<u>†</u>		<u>JL</u>		百		Ĭ	<u> </u>	. 3	彩_				···			:	7	<u>a</u>			H			į	A)	A F	m v	4	H	•									上正	大		(	可認	物包	近郵	種三	(第)	)		(四)	)	=;.
	令只小穀粒を搭如す五尺布を心蓋通	比時的最の果然の可りが、情報も無望の立函辱を日	*豆債務や漸積が中利上	* 対除七八割乃至九割の迷むみ用道の	サ帯サッテハロ文况地面	ひ別々債務を計算하五보ユリ公平が分排がルモー	無二を農作の皇首がヲ收って何見るでは別作者を	川川が守着け付地上引機が	かと手續を皆行刘夫も等過失下 川 組	<b>ሊ</b> ቀን	十月 日本	倉庫上輸送する山								の村急可實現事中五團新一人の各	何多思揮却四何多畏懼可以合以小	三百萬人引團新可鞏固已然後叫印	春報で見るの十男のとれるです」	宇宙斗並作み三絲電斗如は微物三 い	豆蜂鹼斗如す蟲須三團新者頼る中!	子像料が作不疑いとりるハスリハ .	テリの生活を向上すユテリリ知識 」	賞む主旨み光明正大も行動の立と	村のモスを巡判忌胜なりに選ばない。 電験に行動のい過激的思想の出立	おハモリエ不無すハダスのモ決立	9如何も方法で取立科司→小疑惑 、	假令風粉の耳のいきのいとことは	次の多八叶平利期新の日母合以か ·	タルリシリトアロリ目的を到前工	使の好都好三地主の州山田政乞	料分排公平のりむと対を食見後近	問題可や地税の課金資擔の日小作の日報の記述を建せる行為に至るの一日の日本	が以合け小子の台の組織の原因を 課を	小數四地主即列何者依即何看朝近四三四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四	引希望を以至のりなこの要求を以 教育	追りモガユ虐待のモガチゼ目のユ 廣切三百百月	三百百人中ナシメリニテロトユリーニ		百萬日 村勢働業、自由業、商工業、一合司	●占可の合り中の司立旦の發除四一下四十十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十	全民族一千七百萬叶八割	○王詳記納許可ハフを取以ずけり 叶九かりの格別を回服み正大を思想 日人			心二星部正天的中三平	中は香と使用する「十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	配字と新児は下屋の	同時子筆者の管記せ開陳から各位]から各位の健康を励かり腹解や原がもあいた。	質や可少対變幻かその何を踏かりと機	舞り七天光陰もの火丸込速が立物 10年間の七天溪邊の小七川青七連作者 21日	中型川口窓外斗子七四州七館樂書 向初級使前を風霜再像合工外々談相前 四刀	工員々解他がルス正草木・商客で治力	计人	會員各位の川	
	行号的自二里次等中小管影的如時	4日於於日子冠耳八四月月十二十七年八八四十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	車夫二百餘名+問知所措皇際怪→	を拒絶なユ로の外射鮮/山谷を水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の	- 組合長資格のヤサモ 磨	ガリタリ同時の朝鮮人	繁祭署呈早时何必鮮日如組合四合 押以取事。 多文文 过老。 《四文四期	東上如何も以事関東處 李	和合長き選定すり警察	戦がい	夫組合合併問題	人で、その問題のその	本一平和4母!	小りなと表徴の昨日	客落!新嗓!沈影! 一会:	) 첫스라?	りき 予告の書	のき型 ピイモ	0	맛볼수 일세라	村时曾(成)与	<b>含苦(悲)</b> 도		4	•	<del>č</del>	이동 전주라?		谷風の 和深のいけ	0	四爱!慈爱! 極愛!	で(生) 暑(春)の日引	から(変)や生命ののみ 金字符 (影路		1,	ŕ	F	でとびりなりのでは、これは、これは、これので、当道學校程度が依むの同一が一、	学过	日熟の過人むの同里後學書堂者	の意質氏を	文 是 彗 堂 文 币 热 成 合併	日月日	依むけのひと日入母願書の接	名の叶が四入學年齢や新収音  、	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「中入型瓶書コボ受モニ月十五」 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	/柴草人員モ男子一百名の叶モ 出す/私立永化學校の今年度初集第一年期	一徒募集	料道	マライン ロス (大)   立ちば   立ちば   立ちば   立ちば   立ちば   一立ちば   一つもに   一つもに	中三債務可見奪す	粒米斗分段工辦川の無路並是 合校並以中流野斗屋の値振り具字 千寧	城的の豆富從が七外の道理小台書	ないと重要を行うというには、	引促金を開口も能力な刀引は 足が、何正は引いりと見利の租包み ナカン	機楽の看板の引いのいい看板 組合ではコスエピッ合い いっちゅうしゅう	中海土の小作権を秋風で落葉 せ締ね物付すスト約付かストリカの	東年二期地税指費を終決予で「高書原	
	音哀乞ず耳聽而不聞する過冬せ展	E 附着上下女川女 没數輸給 1 烷過 1	受取すの昨年製作	作人で對かき太高せ占有も統督郡居	南固城郡東海面鳳	警官立?	名すがいいい(韓山)	戦淳州名き	同五年がり密度者孫文書の	番者小照	무무	早前川儉舉	关凹	其成績の良好なさ人皆稱!	が大比人の呆をかた出い料道が少れている。	II.	濟製成	(順大) 州	梧峯里 東草面壯陽里 ニュ	银台县 震谷里 公光面大狮里 罗尔不村里 梭岩里 上沙面吃山里耳	内里 西門里 南門里 下松里諸語	順天郡別良面牛山里。樂安面東一	日き動行は前世を左午切りの中	むいむや水報の展の報道のタカ	**村断烟同盟**	順天 <b>邯</b> 切折亞熟	(不)数)	上路時創育を開催	+	中断然立合併すり可動兵士力説と、一般自の村投票は選定動スの引立。所が	原則	5點の有は9敗定む刃&日本人世に七句警察署の村を組合規約上不 設備	不能な	i de	日本人子組合長。豆科里朝鮮	- 指日米十	助の點の時	風俗智慎の各異なっと規約上人と集の名員の異ないれ影の不りてなった。	上総合時十二人組合長の朝鮮人」のこ	鮮日人で五畑・1	の併足なのみが	日本學察署四内定方針二星形式 を前	理由量長利の中央医导合併す	日日組織な必要と無む以		鮮川州組合の分離からのムラ	第日州組合の合かの一層不力 生選	一次中同者の月七 依む 一次の から 一次の から 一次の から	十二二十	すい 金用海	李旗	供在吉 :	き新任寺工整理委員場正確 はぬめ	卫阳鲜	二叶节可以子王发别的待遇,	\$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	ソユ組合	少昔方針のせせ小井七葵催生送りるの井火车なるが仏朝鮮人車大田協は	金鷹三 当内中国部 七甲整療器 物母様子質以予預測可具者同盟課者 四月日	The state of the s
:	日本教育の意思が世外中村二民元出	即のいこなのの教育の振興から	分岐點令此呈州辦斷司令定理斗 題旨	ダイリ更言が9人生前路4死活をごむ國家小宮羅社國家ハヨモ効能をご	者以中微弱も社合小路盛の中食	中政育を思者小智者和中語者小川市	<b>ウユユ固有甲腐雌悪智斗龍頭蛇 友好心に食える事が近れていませる。 おりょこ 男子 に</b>	20年減都有可等選舉被任つ中間	林が氏の羞耻の母幾百年の廢職と北	母想竟州中又至州司天計刊此七 寒大所斗如智を瀬水曜黒の向司の存寒大	松の共知のと事質のけ近來該翻台	努力可引好成績を想可引引する 2、1947年	予生員省トよ所以文字下常一法 とお	计中间時刊中等教育機關。三十 9不	き期成立科なののその王戊君子! 同胞形外骨の14点月形の料理的11点胞	サペ 日名者の ス郡内有為青年 一個	現世界の新思潮な祭祀の曉極の 子山	ハミッチュミスの中諸八甲諸氏リンステンの古のツモニスの古のツモニスなべの部が、	父母取为吴彭世中小川中子司의 六	大利耳中子引入將水取豆科之子 目	以中間結ず中野脚が中男逃か中合員	端川儒林 電報告 一一	古一	(詳山)	八議士、總督政務總監等の川交」り	朝鮮湖	· 体外别大豆火条大豆、黄花园 十一二	米港会務を総的む中當日議次や一茂朱	開催す立群である。	港灣を放置する府民一同の遺 郷風	一十五個のいまはするのと如一字都	開港二十四年	港灣大	「後を三南平野富源4呑吐港」「プロで	<del></del>	(順大)	お中各小作人の州返還する中 Black	大正十一年中の中又を地税及同郡が大正十一年中の中又を地税及同郡が	上沙面、等地の土地書号各地主 融山部山の 一名 南非製岩山 服川	至可見合や一般社合のは共知	地主魔醒な小課少ないせ上風お中へ	近川郡では小作座ののの対と来るに名地主ン、地称返還 一十只会	新代会	、自家の學覧と無む者(平摄) 山中野の時の時	、身體健康の五性質の温良が元山家	専門學識の存む者 一一元	技規程を如左手の中 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	作素忠量能及州名の中国等 モ中同日の留学生選拔規定で、ま1日	目下平壤崇贺大學二年級《通司朗尼巴年前京郑僧信叶學校者卒業二十一	三現今二十五歳四有爲む背年 金銭行	供対・平原郡青山面海院出出「トールハストの野師範帯技術就学が中が学がすりません。」	说藏书五洪烧则君+11水平送 成甘+	州市工會社会	行内覆部基形紙及合型のは進路の日変學會のは そま九十年後八時 相まり	40	三輪送州が吹いのは(固城) 平近郷	以打作事作半分式地主金德市 呈暗黑中知事人二三人式帶同立會下 斗头引	9同時年該面整官专用申請4/君+已學支會专用班承金化七八十級 踏近月	15天き旅りの朝鮮小作人和助 西古今7天裕立等中ガ史エコ英重素省7条1	
	四班一公立普通學校では七十四	學上训作品受電	明の父を後は合か父耳の司	は月りくるとはないでいます。	き得が五當夜該校代設林尚 ――育下門哲序を進行过 明多大	志趙容寬氏斗本賴支局長李貞	の微密하り大質を手廻行せ手数 しゅう 紫がり おおおお は 一	下下當地轉妓一同平賦身的	本月六日詳山州到着が呼各期	警程サ不拘す五京城・豆早日	代表者林尙楚、韓龍斌兩氏モニー	原於見り出る中午り十年上午 毎日肥の川此意を訴述から同じ	○豆不足基本争確充豆科朝能 七、	・登可・預算の六萬除國の小不一 勝った。影道では三年月の八月	と昨年半日當地館井村の大成 下、	中學校小無甘っ版題中日常地 節	7四百余周小沙交馬準備計2十二十二十四百余周小沙交馬準備計2十億万万勝之	松具エピハ赤手三渡外の中北一上、	校後援大講演 一 西	間島大成中學 三、	可二十人可引可引(茂朱)心	後五時で閉合すめ七日容路組 消	り見失議社後記貨をき場づれ二、· 常都教員・限す・三割・割引 ***	勿論하立在学證四書가有も思し、	タユ株主側半動議呈何地方興 おまざます 多野舎上さ 万米等を	生き組載えたどうでは貴地は「平役」を開催すりと同組合せ金容麒(祭覧)	時可茂朱青年台館內可以臨時年度	自動車組合可将を去九日午前一人	目的耳且 <b>全</b> 密 = 中語	♥羽ぎが♥54(元山)	<b>越 魏衡淳 安廷協 南百社</b> 全北北	川道過ルツや後執行委員・三 - 質の創立委員長魏徳淳レ의司首	树化	第一回創立總行を第一公曹校 ではなり、第一の二国の工事記書を書き、中元等	ル山公普學父兄會	+ **	迎三國*徴収すい各本里振師 即約4	ずみの食の加入む者が奥烟でした。 一省の面孝林里ではそ断煙食 一省	和挿稿面二里、沐里、盆井里及	空曾의 現的最正 1974	元山	今时山洞上寺頂中別會 1·3·1	報	對於收支計	四年行时 村七去十三十年後十一年石川	會評該	(#)	二十四日子母百餘戸小斷煙・濫執	资概	2、金鎬波諸以ヨ發起皇客月 可置き		希照せい云々	· 男省二章年附建的士诞专期 小柄付款 医一种甲甲基甲基 医二种甲甲基甲基	朝鮮の光明の日熱心動物をからか	の・ユ献身の中努力の中職会普通	お者に甲級別ュ炎が甲野栗 沃川郡(臺上〒自由甲斯生命サテ리 全北錦	19日光明戦でナウルは文化 出土退歩471北絶快速も大活歩	のリリ新年#癸亥谷を連甘  経難リ  覚醒が明男名奮起が早王戌 がユ果!	サ勿論が平衡を一般のます。早期作1味がいる社會が腐敗させ東十五期に	
	後援 朝鮮	主催 洪 原	動 均 洪原育英講	時 日 二月十八旦	つき込	一口加出此	籤 開 會	加區域 洪 原	入金每團	乙 近 明详目记录其一 二月十	甲乙明日 ニョトゥュ	月二十五月々四面事務所の持つ(い)で、一年月の治路額では気で、)もご	前各條印趣旨可基計中各禁煙又言	入き自制き事	せ 意遇外 可 関 翠 品 其 也 勿 品 コース は 学 煙 じ 夕 質 約 コーカ 注 り そ 不 作	料子励行宣事	日用品其他の對から各充分から見	おそ各自の煙草子繁む事 「ヱN消災のおう」とある。3	私立皆通學校是建設を都立かの司	各自消費節約勵行刊依部中本 智五十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	の向上の努かと同時の教育をのな	投節約さ自後的實行する貯蓄可り	本哲約や時勢の鑑かい各月日山西	本朗・雨順自内の居住比のことも	<b>登約書</b>	自民名を加左可可引	とうれた骨通学校を切からな」 いる私立骨通学校を切からなって	の對か中四十錢式貯金が中水 引力に	H 서	外諸八甲後起豆容月三十一日	が邑郡南順面 マはと 面長韓   ◆	色勺类瞿◆◆	時の閉合するいのの(新談州) ◆	4見の也質をロマリ豊正は1	神宮を當地境頭組合内のお開 でのご	こして後に子りかなれるで 茶果の	プスかい治野川合き放祀 長班 志人士7十五英風の治型	費組合發起總會	(清州) 世間#	더라	1月一日き際すり営地融拜像 1歳山郡の外郡男女が智貴年舎の村と一般山郡	備	(銀山)	粉刀曾母日司小作人日怨齊	7日小作売を移動する豆一般の一斗式加搾する地税を香捧	「執取捧時で高捧かい斗税を」監	五 京臣,臣日是七名。者一方今年結中の中永同郡陽川	<b>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>	192.6日上川が溪里陸復野 二部	·货车中电竞公果&P对加 图·对了名雕一石中十二十四斗 —— 化	「中七中斗税号毎イ頭の一斗」 十統國氏七勝種の選择の四斗量」:	税を一々智様の文本中上同一・中心	「お沙叶平地脱る女人も後史」 もの一税の徹出する附加税を自己」 小畑	ユ貝小作人サス明賞がオサ  一つ、第6番サリ好何で開付オター ガモ	等し付す。ログト間をトープトで、 南諸氏や小作機移動型時で   ○、	伊南面伊院弘治李兼異八甲(元・本山郡下土地を占有せ地主中)九、本	主及小作人間不平 八、學	おおける中(元山) 貯金父兄+勿論其外一般ヨネモ 感旨	品版配合・同校課堂内・開(但然	
- 4	鮮日報洪原支局	原青年會一	運動場		玉ノ	大学	日 : /	郡	回した	大兵を司を持ちている。	・一つで		スのかスエハから見を当せる	(をなかりなの) これのいかい	否则暂呼可可以与研究人的呼	父子母自豆石甘甘香不引的日 同	の別日からなり 哲学会なもか 小っ	ひかせとりをひめる利もりむ」山大変	ひ正 日日	母子世世書月五号村甘辛二至 母子 5 月号六五号五三三	한다국에서는붉은레두리모자		过舌の仝干방舎보고도놀보다	可以日午全别到社会社中的村	豆は川仓車の日村二列口書信	不改立四〇年 野早日の	어너무 파민하다▲무	못한다하고금지 하얏다한다	り 1 日 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	◆◎◆母 お라けかるをなる 分局	本 ◆ 村 はなり川是潭陽	<b>*</b>	◆ 에서는음러명월조	선물산장		A 20 30 30 30 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	<b>叶該洞里一般及附近洞</b>		昭岡川血 いい 「現口灌入から」 支	○ 早危急の境州至前の右手	吉可加驛塔里 居尹崧	童의孝行	(新泰七)	程東烈が	鬼虱七 宋朴判束 林	李秉宝		沿河河户李子等一众好祭。   位照   流及		艮 拿文义 制朗曼田村吉公員氏名	一個月十一人分聚像都十四	大学と現代する最近では	見膏飲料作同金元と烟草入筝を所持る	吸烟せる現認メルトがスムー・あった。	管的施行リューの限の吸烟 支 (4)以后:私か・40mm	- 以上にる。とも上屋は一根の地域では、一般の	定計  校建築期間+大正十二年度業務	計川四	リル平衆	
		<b>* 罗                                   </b>	する 自中心に 三子人	新義州府		北支局發展	祝朝鮮 日報	剪鯓日韓	き張しま	か少小三日食位照亮が入っ	はずダリ左記斗如う	交动及来世勤大量 <b>作</b> 文型	鮮日報		支局長鄭昌	R 徹氏 2	「諸位照亮爲要	型子員	村山支局業務擴張の件が	日報	宗	鄭湧	記者金炳弼	金鱼	鄭	立泰	司員就氏名	潭陽驛的	定す文小工日諸位照亮爲安の日息級女もの位置及后見の対	八七年	撕張		金寧	祀:	珍鱼	同 金 童	韓一	支局長 柳 昌	自職氏名 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		如左選定がタルエコ諸位照亮	全北支局業務擴張の件 かいを	東鮮 日報 前	李圭		は職氏名	局位置	사오	群任せ代の位	日報治	郭侑宗	る鄭島鐘	鐘德	<b>电泉支局</b>	局名稱图录画柏田柯二三九	□ 位置 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	横浜 中心・周により  横浜 中心・周により  横浜 中心・周により  横浜 中心・周により  海には、東京原と地域を一名	不断知販司及競与反及等一切配泉都中支局を設置する遺伝	社告	
**	2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	K	新義州府冀砂町七丁目	所話三五一番	<b>总山</b> 函會	松町	1	白孝俊	新義州府榮町六丁目	委各	代制の二三番中	**************************************	平北商會	新義外府老松町 海洋			7	嫌護士 ト	老宝外务员工了是				74	私立	京郵級良策點前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		本 气 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ì	開設永	州	和	į	安東貿易	電話	安東縣三番通五丁目二番地		電話三二一番	東華醫院	"七丁目			ļ	<b>港</b> :崔 昌 明	新義州府榮町五丁目		<b>范韶(五三三番</b>	新川 <u></u> 上質車部	1 西省			<b>띦話五六九番</b>	<b>彩</b> 着 州	お前外所権も向	į.		金基漁		新義州府老桧門	
	金屋英	が肝の性	H	北都資的 李 榮 華	<b>脊</b> 库	州府梅枝町	<b>彩</b>		N·府老公叮	零托贩買 "配話三一八番"	<b>夷成 饭 官</b>	州府老松町五番地	電話五六七番	防運輸組一	新義州驛前			有	•	1		3-44		正則學校一			話工四番	;	話工番	店	北下洞	庆 N	有三人方	株式會社	<b>能 三四一號</b>	<b>.</b>		趙普根	凝滞 樂殿	有	· [		金 道 河	日興泰	真砂町	-1	電話二大二番	のが、分信配合	物法とくうが	米股商組合市場中閩店新義州榮町五丁目			金家熙	<b>岩面外的美心间三丁目</b>			宋世烈	<u> </u>	新義州府若竹町十三番地	
	度	0.000000000000000000000000000000000000	文	i i	ď.	宰兢	代書業 姜 寅 筆米	承烈	<b>B</b>	昌城憲兵分遣所	分局	紋	<b>城面城豐洞</b>	Ĥ	英	印章答案。金龍。鄉		稳	法	洋靴后 元 達 華	3	梎	面長金岩鎌	割	ŧ.	郡守金明督	局影體		兄月羊1日 **	電話三〇五番	豐永洋服實習部一個	新發州母老公町 米爾 主 村 蓮 節	政業 上耳艾尖 八東	田田雜貨 一直至之一社會	金錫厚	同濟醫院器	Ř	陶器各種 宜义 全 一百 七	1	1		四民学报店	新進州 <b>行尾少</b> 丁	金萬煥	若竹町	俄格	(玉金) (九天) (資祿)	MY VES		<b>电压口刷</b> 问剂	男 <b>洋</b> 中间斤 活唧	實施	張仁卿讚	新義州府老松町 二月		現	1	新義州木工所 一	-	
	特は、イン・三人・名の	共享 夏美 官	第二篇 火薬室や三	が <b>一</b>	統派不見の手	· 中三时里的工具 丰富圖	米岡外の中三号目散移蘇品	節六山第十二篇 垂布5 茂	地間 幺 の 南 三十一卷	4十五世三氏財産	というないと独主が	j	情新复引思注		動戀의英雄等			質の分社週報4 全二	顾完社研究室 <b>映畫</b>	月十六日(陰正月一日晝間)早日	局でするこれは、	3	直見りに		投息同	第四、第十篇 匹卷上掛	全十五篇三十卷中	二北國의女王	理解大活劇		作狂亂의血 祭		7月中日ム州已鎮主演 卷	米減立五以本映画	高原の 一の 大 省	別りの中書目映画	正月一日早日三日々又) - 一子野児の際から一週間二囘交換	新寫眞提供!	醫) 正月一日 B) 二月十六日 B) 二月十六日 B) 二月十六日	電話本局三六二〇番	<b>皂魚房場</b>	月半川湯	京成年二字同	一篇二篇五卷上出	全十五篇三十一後7 三語劇 黒・オック 温・園	里演 15 5 1 三社特作品	※ オフイオ 巻	上方とする	曲馬團의鬼金六	中へ井口子食社映査	大田中国の日本一人社会書	全一名   一 全 一 名	州中中山山一山社映画	十六日金曜〈正月一日〉4号	主任 進 世 第	推	長城郡島内	昌城忠疾分遣所	以	